

セクション1: 物質/混合物および会社/事業の識別名

1.1. 製品識別子

製品名 : KWIK-STIK™
商品名 : KWIK-STIK™
KWIK-STIK™ Plus
Lab-Elite™ CRM

物質又は混合物の関連する特定用途及び使用禁忌用途

1.2.1. 関連する特定用途

物質/混合物の用途 : 微生物学的品質管理用

1.2.2. 使用禁忌用途

追加情報なし

1.3. 安全データシートのサプライヤーの詳細

Microbiologics, Inc.
200 Cooper Avenue North
Saint Cloud, MN 56303
+1.320.253.1640
info@microbiologics.com

1.4. 緊急電話番号

24時間緊急電話番号 : +44 1865 407333 (Carechem-English)

セクション2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

規則(EC)1272/2008号[CLP]による分類

分類できない

物理化学的、人の健康、環境への悪影響

追加情報なし

2.2. ラベル要素

規則(EC)1272/2008号[CLP]に従ったラベリング

該当ラベリングなし

2.3. その他の危険

REACH付属書XIIIに従って評価した結果、PBT/vPvB 物質が0.1%以上含まれていません

混合物には、REACHの第59(1)条に従って内分泌かく乱特性を有すると定められたリストに含まれる物質が0.1%以上の濃度で含まれていないか、または委員会委任規制 (EU) 2017/2100または欧州委員会規則 (EU) 2018/605に定められた基準に従って0.1%以上の濃度の内分泌かく乱特性を有すると特定されていません

セクション3: 成分の組成/情報

3.1. 物質

該当なし

3.2. 混合

名称	製品の識別子	%	規則(EC) 1272/2008 [CLP]に基づく分類
水	(CAS No)7732-18-5 (EC no)231-791-2	99%超	分類できない
塩化ナトリウム	(CAS No)7647-14-5 (EC no)231-598-3	1未満	分類できない
二塩基性リン酸ナトリウム	(CAS No)7558-79-4 (EC no)231-448-7	1未満	分類できない

名称	製品の識別子	%	規則(EC) 1272/2008 [CLP] に基づく分類
リン酸、カリウム塩(1:1)	(CAS No)7778-77-0 (EC no)231-913-4	1未満(水和液); 5~35 (凍結乾燥材料)	分類できない
塩化マグネシウム	(CAS No)7786-30-3 (EC no)232-094-6	1未満	分類できない
塩化カルシウム	(CAS No)10035-04-8 (EC no)600-075-5	1未満	急性毒性4 (経口)、 H302 アイ刺激2、H319 STOT SE 3、H335
チオグリコール酸ナトリウム	(CAS No)367-51-1 (EC no)206-696-4	1未満	急性毒性4 (経口)、 H302 皮膚刺激H315 目の刺激。2、H319
ゼラチン	(CAS-No.)9000-70-8 (EC-No.)232-554-6	5 - 60	分類できない
ショ糖	(CAS-No.)57-50-1 (EC-No.)200-334-9	0 - 60	分類できない
グルコース	(CAS-No.)50-99-7 (EC-No.)200-075-1	0 - 60	分類できない
アルブミン、血清	(CAS-No.)9048-46-8 (EC-No.)232-936-2	10 - 30	分類できない
脱脂粉乳 (ウシ - 米国産)	なし	2 - 20	分類できない
L-アスコルビン酸	(CAS-No.)50-81-7 (EC-No.)200-066-2	1 - 5	分類できない
炭素	(CAS-No.)7440-44-0 (EC-No.)231-153-3	0 - 5	分類できない

Hステートメントの全文: セクション 16 を参照してください

セクション4: 応急処置

4.1. 応急処置の説明

吸入後の応急処置	: エアロゾルの発生を避けてください。吸入した場合は、新鮮な空気のかかる場所に移動し、医師の診察を受けてください。
皮膚接触後の応急処置	: 石鹸と水で洗います。炎症が発症または持続する場合は、医師の診察を受けてください。
眼球接触後の応急処置	: 水で数分間念入りに洗浄します。コンタクトレンズは、容易に取り外せる場合は、取り外してください。さらにすすぎ続けます。刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
摂取後の応急処置	: 手と口の接触を避けてください。摂取した場合は、医師の診察を受けてください。

4.2. 最も重要な症状と影響(急性および遅発性)

吸入後の症状/怪我	: 感染性物質を吸入すると、感染することがある。
皮膚接触後の症状/怪我	: 炎症を引き起こすことがある。
眼に入った場合の症状/怪我	: 炎症を引き起こすことがある。
摂取後の症状/怪我	: 飲み込むと有害のおそれがある。

4.3. 緊急の医学的処置と特別な処置 (必要な場合)

追加情報なし

セクション5: 消火対策

5.1. 消火剤

適切な消火剤	: 周囲の火に適した消火剤を使用してください。
不適当な消火剤	: 無し。

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険

火災の危険	: 既知の危険はありません。
-------	----------------

爆発危険物 : 既知の危険はありません。
火災時の危険な分解生成物 : 未特定

5.3. 消防士へのアドバイス

消火中の保護 : 消防士は完全な防護具を着用する必要があります。

セクション6: 誤放出対策

6.1. 個人的な予防措置、保護具、緊急時の手順

6.1.1. 緊急時以外の方へ

インシデントのすぐ近くで作業しているすべての人に通知します。そのエリアを放置しないでください(あなたがそのエリアにいる唯一の個人でない限り)。インシデントエリアからの避難を誘導するための別の従業員を指名します。使い捨て手袋、防湿エプロン、およびその他の保護服の使用は、個々の実験室の標準的な操作手順によって決定される必要があります。

6.1.2. 緊急対応要員向け

追加情報なし

6.2. 環境に関する注意事項

環境へのリリースは避けてください。

6.3. 封じ込めと清掃方法・用具

封じ込め目的

: リスクがない場合は、物質の流出を止めます。

清掃方法

: 凍結乾燥微生物製剤の水和が起こらなければ、措置は不要です。水和が発生した場合は、当サイト (www.microbiologics.com) にあるLBL-05370 Biohazard Cleanup (バイオハザードクリーンアップ) をご覧ください。

バイオハザード流出キットは、市販の供給元から入手できるか、次の材料で作成できます。

- 水性殺菌液のボトル
- 使い捨て手袋1組
- 鉗子
- ジッパー付きバイオハザードバッグ1個
- ペーパータオル1スタック/ロール

注: 鋭利器具用バイオハザード容器は、切り傷や穿刺傷を引き起こす可能性のある壊れた材料(割れたガラスバイアルやチューブなど)の収集にも利用できる必要があります。

手順:

1. その場にいた従業員全員に通知した後、バイオハザード流出キットを回収し、直ちにその場に戻ってください。
2. 使い捨て手袋、および規制要件または実験室手順で指示されているその他の個人用保護具を着用してください。
3. パッケージや実験器具などの壊れた材料による怪我を防ぐために、鉗子を使用してできるだけ多くの材料を拾い上げ、鋭利器具用バイオハザード容器に材料を慎重に入れます。
4. こぼれの広がりやエアロゾルの発生を減らすために、エリアをペーパータオルで覆います。
5. こぼれた場所を十分な殺菌液で満たします。使用する殺菌液に示されているように、こぼれた場所を殺菌液で適切な時間湿らせてください。
6. ペーパータオルでその部分を拭きます。使用済みのペーパータオルをすべてバイオハザードバッグに入れます。
7. 清掃後、手袋を慎重に取り外し、バイオハザードバッグに入れます。
8. バイオハザードバッグを密封します。

6.4. 他のセクションへの参照

曝露管理および個人保護については、セクション8を参照してください。廃棄に関する考慮事項については、セクション13を参照してください。

セクション7: 取り扱いと保管

7.1. 安全に取り扱うための注意事項

安全に取り扱うための注意事項

: 水和液は無菌液であり、それ自体は危険な脅威をもたらしません。凍結乾燥された微生物製剤の水和に使用すると、水和液は微生物を含む懸濁液になり、特定の条件下では感染経路につながる可能性があります。

微生物の繁殖に曝されたり、接触したりしないように、適切な措置を講じる必要があります。微生物学実験室は、バイオハザード物質を受け取ったり、処理したり、維持したり、保管したり、廃棄したりするための設備を備える必要があります。これらのデバイスを使用する微生物学研究所の担当者は、バイオハザード物質の処理、保守、保管、および廃棄に関する訓練を受け、経験を積んでおり、習熟している必要があります。

7.2. 不適合性を含む安全な保管条件

保管条件 : 製品は、元の密封容器に入れて2°C~8°Cで保管してください。
 不適合材料 : 未特定

7.3. 特定の最終用途

追加情報なし

セクション 8: 曝露管理/個人保護

8.1. 制御パラメータ

塩化ナトリウム(7647-14-5)

ラトビア	OEL TWA (mg/m ³)	5 mg/m ³
リトアニア	IPRV (mg/m ³)	5 mg/m ³

シヨ糖(57-50-1)

アイルランド	OEL(15分間基準) (mg/m ³)	20 mg/m ³
ラトビア	OEL TWA (mg/m ³)	5 mg/m ³ (粉塵)
リトアニア	IPRV (mg/m ³)	10 mg/m ³
ポルトガル	OEL TWA (mg/m ³)	10 mg/m ³
スロバキア	NPHV (priemerná) (mg/m ³)	6 mg/m ³ (総エアロゾル)
スペイン	VLA-ED (mg/m ³)	10 mg/m ³
英国	WEL TWA (mg/m ³)	10 mg/m ³
英国	WEL STEL (mg/m ³)	20 mg/m ³
オーストラリア	TWA (mg/m ³)	10 mg/m ³ (アスベストを含まず、結晶性シリカ吸入性粉塵量は1%未満)
カナダ(ケベック州)	VEMP (mg/m ³)	10 mg/m ³
米国 - ACGIH	ACGIH TWA (mg/m ³)	10 mg/m ³
米国 - NIOSH	NIOSH REL (TWA) (mg/m ³)	10 mg/m ³ (総粉塵) 5 mg/m ³ (呼吸性粉じん)
米国 - OSHA	OSHA PEL (TWA) (mg/m ³)	15 mg/m ³ (総粉塵) 5 mg/m ³ (吸引性画分)

カーボン(7440-44-0)

オーストリア	MAK (mg/m ³)	5 mg/m ³ (<1%石英を含む肺胞粉塵、呼吸性画分)
オーストリア	MAK短時間値 (mg/m ³)	10 mg/m ³ (<1%石英を含む肺胞粉塵、呼吸性画分)
ポーランド	NDS (mg/m ³)	4 mg/m ³ (自然吸入性画分) 1 mg/m ³ (自然呼吸性画分) 6 mg/m ³ (合成吸入性画分)

8.2. 曝露管理

適切な工学的管理 : 局所排気と一般的な換気は、曝露基準を満たすのに十分でなければなりません。適切な実験室の慣行に従う必要があります。

手の保護 : 一般的な保護手袋を着用してください。

保護メガネ : サイドシールド付き安全メガネ。

皮膚と身体の保護 : 防湿性エプロンと安全靴を着用してください。

呼吸用防護具 : 感染性エアロゾル発生の可能性がある手順で作業を実施する場合は、クラス1の微生物学的生物学的安全キャビネットを使用する必要があります。

熱の危険 : 追加情報はありません

環境曝露対策 : 環境への放出は避けます。製品が下水道や公共水域に入った場合は、当局に通知してください。

セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的および化学的特性に関する情報

物理的状態	: 液体および固体
外観	: フリーズドライペレット
色	: 無色
匂い	: 無臭
嗅覚閾値	: データなし
pH	: データなし
相対蒸発速度 (酢酸ブチル=1)	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性 (固体、気体)	: データなし
蒸気圧	: データなし
20°Cでの相対蒸気密度	: データなし
相対密度	: データなし
溶解性	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
動粘性係数	: データなし
粘性係数	: データなし
爆発性	: データなし
酸化特性	: データなし
爆発限界	: データなし
粒子特性	: 該当なし

9.2. その他の情報

追加情報なし

セクション 10: 安定性と反応性

10.1. 反応性

追加情報なし

10.2. 化学的安定性

通常の周囲環境および予想される保管および取り扱い条件下で安定しています。

10.3. 危険な反応の可能性

発生しません。

10.4. 避けるべき条件

感染性エアロゾルの吸入や摂取は避けてください。

10.5. 不適合材料

多くの化学物質は、閉じ込められた生物を殺すことがあります。不適合材料によって新たに危険が生じることはありません。

10.6. 有害な分解生成物

指示どおりに保管した場合、生体材料製剤は、有効期限の記載月の末日まで安定しています。保管期間は感染のリスクに影響しません。

セクション 11: 毒性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (皮膚)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない

水(7732-18-5)

LD50経口ラット > 90 ml/kg

塩化ナトリウム(7647-14-5)

LD50経口ラット 3 g/kg

LC50吸入ラット(mg/l) > 42 g/m³ (曝露時間: 1 h)

KWIK-STIK™

安全データシート

塩化マグネシウム(7786-30-3)	
LD50経口ラット	2800のmg/kg
二塩基性リン酸ナトリウム (7558-79-4)	
LD50経口ラット	17 g/kg
リン酸、カリウム塩 (1:1) (7778-77-0)	
LD50経口ラット	3200 mg/kg
ブドウ糖(50-99-7)	
LD50経口ラット	25800のmg/kg
リン酸、カリウム塩 (1:1) (7778-77-0)	
LD50経口ラット	29700 mg/kg
ショ糖(57-50-1)	
LD50経口ラット	29700 mg/kg
カーボン(7440-44-0)	
LD50経口ラット	> 10000 mg/kg
L-アスコルビン酸 (50-81-7)	
LD50経口ラット	11900 mg/kg

皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 分類できない
重篤な目の損傷/刺激	: 分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞の変異原性	: 分類できない
発癌性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回曝露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復曝露)	: 分類できない
吸引危険物	: 分類できない

11.2. その他の危険に関する情報

内分泌かく乱作用	: 追加情報はありません
人間の健康への悪影響と症状の可能性	: 追加情報はありません

セクション 12: 生態情報

12.1. 毒性

急性水生毒性	: 分類できない
慢性水生毒性	: 分類できない

塩化ナトリウム(7647-14-5)

LC50 魚 1	5560 - 6080 mg/l (曝露時間: 96時間 - 種: ブルーギル [フロースルー])
LC50 魚 2	12946 mg/l (曝露時間: 96 時間 - 種: ブルーギル [静的])
EC50ミジンコ1	1000 mg/l (曝露時間: 48時間 - 種: オオミジンコ)
EC50ミジンコ2	340.7~469.2 mg/l (曝露時間: 48時間-種: ミジンコ [静的])

塩化マグネシウム(7786-30-3)

LC50 魚 1	1970 - 3880 mg/l (曝露時間: 96時間 - 種: ファットヘッドミノー [静的])
EC50ミジンコ1	140 mg/l (曝露時間: 48 時間- 種: ミジンコ [静的])
EC50 72h 藻類 (1)	2200 mg/l (種: デスマデスムス属セネデスムス科 (緑藻類))

12.2. 持続性と分解性

成分に関する追加情報はありません

12.3. 生体内蓄積能

塩化ナトリウム(7647-14-5)

BCFフィッシュ1	(生物蓄積性なし)
-----------	-----------

12.4. 土壌中の移動性

成分に関する追加情報はありません

12.5. PBTおよびvPvBの評価結果

追加情報なし

12.6.内分泌かく乱作用

追加情報なし

12.7.その他の有害作用

追加情報なし

セクション 13: 廃棄に関する考慮事項**13.1.廃棄物処理方法**

製品/パッケージの廃棄に関する推奨事項 : 内容物/容器は、地域/地域/国/国際規制に従って廃棄してください。

セクション 14 輸送情報

ADR / RID / IMDG / IATA / ANDに準拠

ほとんどのMicrobiologicsの微生物株は国連分類 UN3373に従って出荷されます。しかし、国連の分類 UN2814 に従って出荷されるMicrobiologicsの微生物株がいくつかあります。

UN2814株に関する最新の情報については、 www.microbiologics.com にアクセスして技術情報のTIB.2023を入手してください。

14.1.国連番号

国連番号(ADR)	: 3373;2814
国連番号(IMDG)	: 3373;2814
国連番号(IATA)	: 3373;2814
国連番号(ADN)	: 3373;2814
国連番号(RID)	: 3373;2814

14.2.国連正式発送品目名**UN3373**

正式発送品目名(ADR)	: 生体物質、カテゴリーB
正式発送品目名 (IMDG)	: 生体物質、カテゴリーB
正式発送品目名(IATA)	: 生体物質、カテゴリーb
正式発送品目名 (ADN)	: 生体物質、カテゴリーB
正式発送品目名(RID)	: 生体物質、カテゴリーB
輸送文書の説明 (ADR)	: UN 3373 生体物質、カテゴリー B、6.2、(-)
輸送文書の説明 (IMDG)	: UN 3373 生体物質、カテゴリー B、6.2
輸送文書の説明(IATA)	: UN 3373 生体物質、カテゴリー b、6.2
輸送文書の説明 (ADN)	: UN 3373 生体物質、カテゴリー B、6.2
輸送文書の説明 (RID)	: UN 3373 生体物質、カテゴリー B、6.2

UN2814(国連)

正式発送品目名(ADR)	: 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす
正式発送品目名 (IMDG)	: 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす
正式発送品目名(IATA)	: 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす
正式発送品目名 (ADN)	: 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす
正式発送品目名(RID)	: 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす
輸送文書の説明 (ADR)	: UN 2814 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす、6.2、(E)
輸送文書の説明 (IMDG)	: UN 2814 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす、6.2
輸送文書の説明(IATA)	: UN 2814 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす、6.2
輸送文書の説明 (ADN)	: UN 2814 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす、6.2
輸送文書の説明 (RID)	: UN 2814 感染性物質、ヒトに影響を及ぼす、6.2

14.3.輸送危険クラス(ADN)**UN3373およびUN2814****ADR**

輸送危険クラス(ADR)	: 6.2
危険ラベル (ADR)	: 6.2



IMDG

輸送危険クラス(IMDG) : 6.2
危険ラベル (IMDG) : 6.2

**IATA**

輸送危険クラス(IATA) : 6.2
危険ラベル (IATA) : 6.2

**ADN**

輸送危険クラス(ADN) : 6.2
危険ラベル (ADN) : 6.2

**RID**

輸送危険クラス (RID) : 6.2
危険ラベル (RID) : 6.2

**14.4. 梱包グループ**

梱包グループ (ADR) : 該当なし
梱包グループ (IMDG) : 該当なし
梱包グループ (IATA) : 該当なし
梱包グループ (ADN) : 該当なし
梱包グループ (RID) : 該当なし

14.5. 環境上の危険

環境に危険 : なし
海洋汚染物質 : なし
その他の情報 : 補足情報なし

14.6. ユーザーへの特別な注意事項**UN3373****- 陸上輸送**

分類コード (ADR) : I4
特別規定 (ADR) : 319
限定数量(ADR) : 0
数量 (ADR) を除く : E0
梱包説明書(ADR) : P650
携帯タンクおよびバルクコンテナ説明書(ADR) : T1
携帯タンク・バルクコンテナ特別規定(ADR) : TP1
タンクコード (ADR) : L4BH
タンク特別規定(ADR) : TU15, TU37, TE19
タンクキャリッジ用車両 : AT
キャリッジの特別規定- オペレーション(ADR) : S3
危険識別番号 (Kemler No.) : 606

オレンジプレート



トンネル制限コード (ADR) : -
EAC : 2X

- 海上輸送

特別規定 (IMDG) : 319, 341
限定数量 (IMDG) : 0
例外数量 (IMDG) : E0
梱包指示 (IMDG) : P650
タンクの説明 (IMDG) : T1、BK2
タンク特別規定 (IMDG) : TP1
EmS-No.(火災) : F-A
EmS-No.(漏出) : S-T
収納カテゴリー (IMDG) : C
保管および取り扱い (IMDG) : SW2、SW18

- 空輸

PCA 例外数量 (IATA) : E0
PCA 限定数量 (IATA) : 禁止
PCA 限定数量最大正味数量 (IATA) : 禁止
PCA 梱包指示 (IATA) : 650 を参照
PCA 最大正味数量 (IATA) : 650 を参照
CAO 梱包指示 (IATA) : 650 を参照
CAO 最大正味数量 (IATA) : 650 を参照
ERG コード (IATA) : 11L

内陸水路輸送

分類コード (ADN) : I4
特別規定 (ADN) : 319
数量限定 (ADN) : 0
限定数量 (ADN) : E0
必要な機器 (ADN) : PP
青色コーンライト (ADN) の数 : 0

鉄道輸送

分類コード (RID) : I4
特別規定 (RID) : 319
限定数量 (RID) : 0
例外数量 (RID) : E0
梱包指示 (RID) : P650

持ち運び可能なタンクおよびバルク容器の指示 : T1 (RID)
携帯タンクおよびバルクコンテナ特別規定 (RID) : TP1
RID タンクのタンクコード (RID) : L4BH
RID タンクの特別規定 (RID) : TU15、TU37
コリスエクスプレス (速達小包) : CE14
危険識別番号 (RID) : 606

国連 2814**陸上輸送**

分類コード (ADR) : I1

KWIK-STIK™

安全データシート

特例(ADR)	: 318
限定数量(ADR)	: 0
例外数量 (ADR)	: E0
梱包指示 (ADR)	: P620
混合梱包規定 (ADR)	: MP5
輸送カテゴリ (ADR)	: 0
キャリッジに関する特別規定	: CV13、CV25、CV26、CV28
取り出しと取り扱い (ADR)	
キャリッジの特別規定- オペレーション(ADR)	: S3, S9, S15
トンネル制限コード (ADR)	: E
EAC	: 2X

- 海上輸送

特別規定 (IMDG)	: 318, 341
限定数量 (IMDG)	: 0
数量を除く (IMDG)	: E0
梱包指示(IMDG)	: P620
タンクの説明書(IMDG)	: BK2
EmS-No.(火災)	: F-A
EmS-No.(漏出)	: S-T
収納カテゴリー (IMDG)	: なし
保管および取り扱い (IMDG)	: SW7

- 空輸

PCA 例外数量(IATA)	: E0
PCA 限定数量 (IATA)	: 禁止
PCA 限定数量最大正味数量 (IATA)	: 禁止
PCA梱包指示(IATA)	: 620
PCA 最大正味数量 (IATA)	: 50g
CAO 梱包指示 (IATA)	: 620
CAO 最大正味数量 (IATA)	: 4kg
特別規定(IATA)	: A81、A140
ERGコード (IATA)	: 11Y

内陸水路輸送

分類コード (ADN)	: I1
特別規定 (ADN)	: 318, 802
限定数量 (ADN)	: 0
数量 (ADN) を除く	: E0
必要な機器(ADN)	: PP
青色コーン/ライト (ADN) の数	: 0

鉄道輸送

分類コード (RID)	: I1
特別規定 (RID)	: 318
限定数量(RID)	: 0
数量以外 (RID)	: E0
梱包指示 (RID)	: P620
混合梱包規定 (RID)	: MP5
輸送カテゴリ (RID)	: 0
キャリッジの特別規定 - パッケージ (RID)	: W9
キャリッジの特別規定 - 搬入、	: CW13、CW18、CW26、CW28
取り出しおよび取り扱い (RID)	
コリスエクスプレス(速達小包) (RID)	: CE14
危険識別番号 (RID)	: 606

14.7.MARPOL条約附属書IIおよびIBCコードに従ったバルク輸送

該当なし

セクション 15: 規制情報

15.1. 物質または混合物に固有の安全、健康、環境規制/法律

15.1.1. EU規制

附属書XVIIの制限物質が含まれていません

REACH候補リストの物質が含まれていません

REACH附属書XIVの物質が含まれていません

15.1.2. 国内規制

ドイツ

AwSV/VwVwS Annex リファレンス

: ウォーターハザードクラス(WGK)3、水域に対する重大なハザード(AwSV、附属書1による分類)

連邦排出規制法を施行する第12次条例 -

: 12の対象ではない。BlmSchV(危険事故条例)

12.BlmSchV

オランダ

SZW-lijst van kankerverwekkende stoffen

: 塩化マグネシウムとゼラチンがリストされています

SZW-lijst van mutagene stoffen

: 塩化マグネシウムとゼラチンがリストされています

NIET-limitatieve lijst van voor de voortplanting

: どの成分も表記されていません

giftige stoffen – Borstvoeding

NIET-limitatieve lijst van voor de voortplanting

: どの成分も表記されていません

giftige stoffen – Vruchtbaarheid

NIET-limitatieve lijst van voor de voortplanting

: どの成分も表記されていません

giftige stoffen – Ontwikkeling

15.2. 化学的安全性評価

追加情報なし

セクション 16: その他の情報

R-, H-, EUHステートメントの全文:

急性毒性4 (経口)	急性毒性 (経口) カテゴリー4
目の刺激。 2	重篤な目の損傷/目の刺激、カテゴリー2
皮膚の炎症。 2	皮膚腐食性/刺激性、カテゴリー2
STOT SE 3(ストット SE 3)	特定標的臓器毒性(単回暴露、区分3、気道刺激性)
H302	飲み込むと有害
H315	皮膚の刺激を引き起こします
H319	重篤な目の刺激を引き起こします
H335	呼吸器官の刺激を引き起こす可能性があります

このSDS文書の改訂版は、ご要望に応じて提示することができます。

この情報は、当社の現在の知識に基づいており、健康、安全、および環境要件のみを目的として製品を説明することを目的としています。したがって、製品の特定の特性を保証するものと解釈されるべきではありません。